※令和４年度以降入学生用

学校番号	414

令和５年度　国際文化科

教科	国際文化	科目	国際理解	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	What’s up? for SDGs[BASIC]（桐原書店）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

環境・開発・貧困・紛争など地球規模で起こっている現代の諸問題について学び、
それらについて知識・理解を深め、それらの問題と自分とのつながりに気づき、その解決に向けて自ら考え、意欲的に取り組むことを期待します。

２　学習の到達目標

(1) 環境・開発・貧困・紛争など地球規模で起こっている現代の諸問題について理解しその知識を身につける。
(2) 環境・開発・貧困・紛争など地球規模で起こっている現代の諸問題について、多面的・多角的に考察したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
(3) 環境・開発・貧困・紛争など地球規模で起こっている現代の諸問題について、より暮らしやすい社会の実現にむけて積極的に行動する態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	環境・開発・貧困・紛争など地球規模で起こっている現代の諸問題について理解し、その知識を身につけている。	環境・開発・貧困・紛争など地球規模で起こっている現代の諸問題について、多面的・多角的に考察したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	環境・開発・貧困・紛争など地球規模で起こっている現代の諸問題について、より暮らしやすい社会の実現にむけて積極的に行動する態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	開発と貧困、南北問題	・　命の水 ORSP ・　People around the world 発表 ・　世界がもし１００人の村だったら ・　貿易ゲーム ・　フェアトレード ・　南北問題	a：世界の５歳児や人々が置かれている環境を理解し、その知識を身に付けている。 貿易の不平等やよりよい貿易のシステムを理解し、その知識を身に付けている。 南北格差によって被る不利益や不平等を理解し、その知識を身に付けている。 b：貧困や南北問題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c：貧困や南北問題について、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組めている。	発問評価 小テスト 定期考査	発問評価 提出課題 ペアワーク 定期考査	授業態度 発問評価 提出課題
２学期	環境、紛争	・　熱帯雨林 ・　パームオイル ・　円卓会議（英語・日本語） ・　地雷 ・　Wooly Thinking すべてはつながっている	a：熱帯雨林の置かれている状況やそこ住む人たちの暮らし、またプランテーション農業の影響を理解し、その知識を身に付けている。 wooly thinking を用い、これまで取り上げた諸問題ほか地球上のさまざまな問題がすべて関係し、絡み合っていることを理解し、その知識を身に付けている。 地雷やその影響を、理解し、その知識を身に付けている。 b：環境問題、紛争について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c：環境問題、紛争について、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組めている。	発問評価 小テスト 定期考査	発問評価 提出課題 ペアワーク	授業態度 発問評価 提出課題

※令和４年度以降入学生用

３学期	Project Based Learning	・　世界をよくするプロジェクト企画	a:1学期、2学期で学んだこと(環境・開発・貧困・紛争など地球規模で起こっている現代の諸問題)についてさらに知識を得て、理解できている。 b: 世界をよくするためにはどうすればよいかを、これまでに学んだことを活かし、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できている。 c: 環境・開発・貧困・紛争など地球規模で起こっている現代の諸問題について、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組めている。	発問評価 小テスト 定期考査	発問評価 提出課題 ペアワーク 定期考査	授業態度 発問評価 提出課題
				発問評価 小テスト 定期考査	発問評価 提出課題 ペアワーク 定期考査	授業態度 発問評価 提出課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度